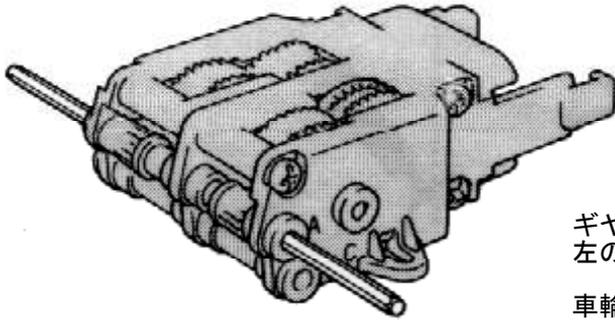
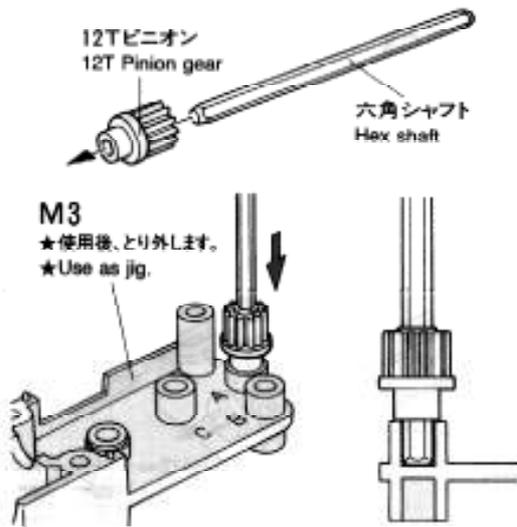


ギヤーボックスの組立



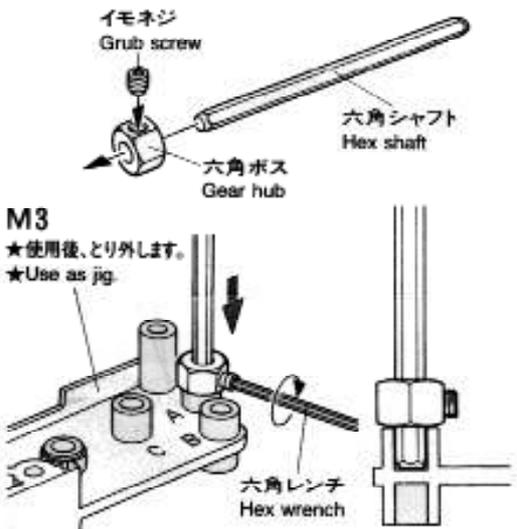
ギヤーボックスを組み立てると、左の図の様になります。

車輪の軸はAが出力軸となります。



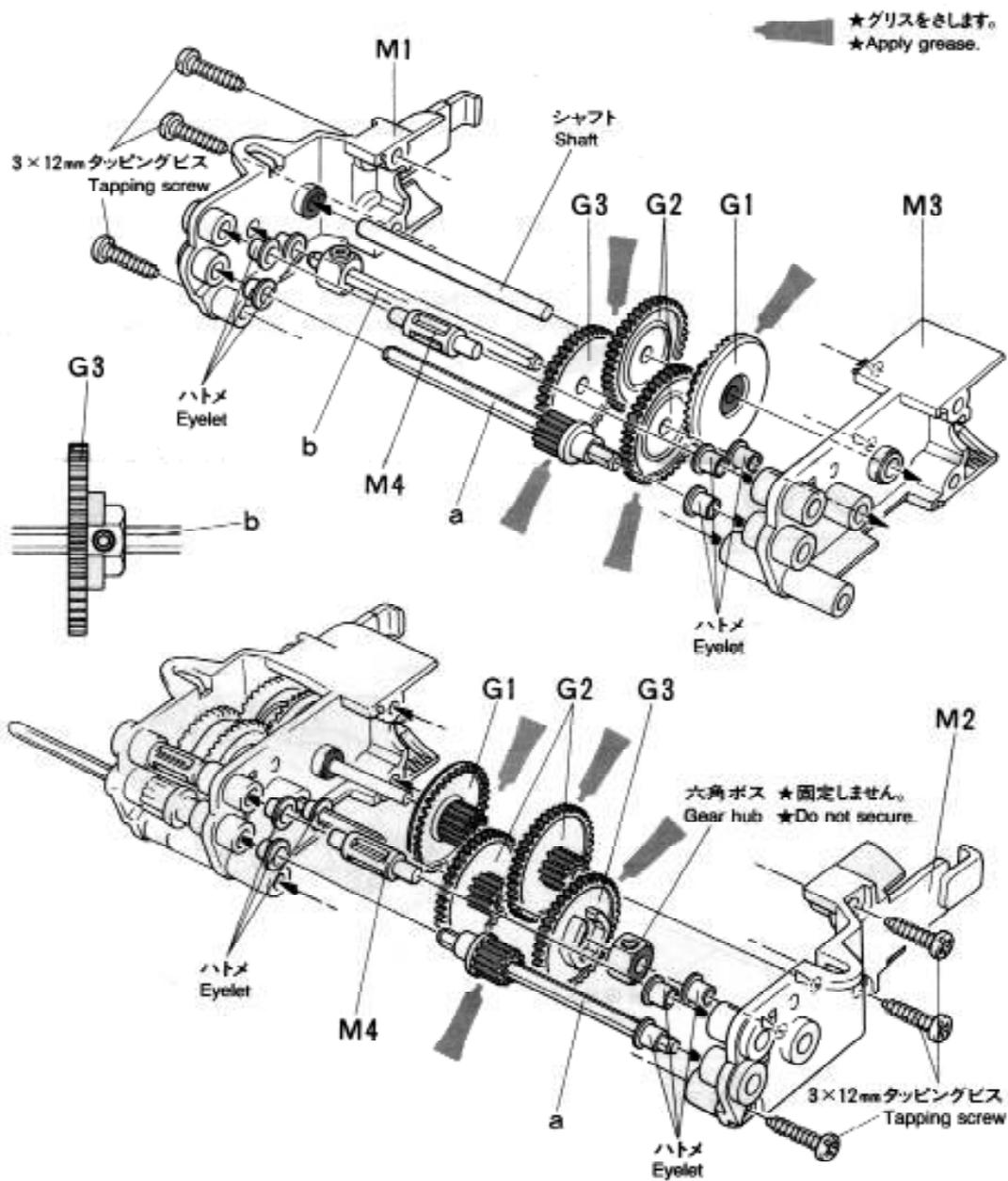
最初に、丁寧にプラモデルの組立てを思い出しながらニッパーで枠を切り分けます。

次に、中間の枠板を治具に使い、シャフトにピニオンギアを差し込みます。左右対称に2個1台です。



六角ボスにイモビスを取付け、シャフトを差込み、左図のような位置に固定します。

六角ボスは2個有りますが、片方は軸に固定しません。固定しないほうのイモビスは不用です。余ります。



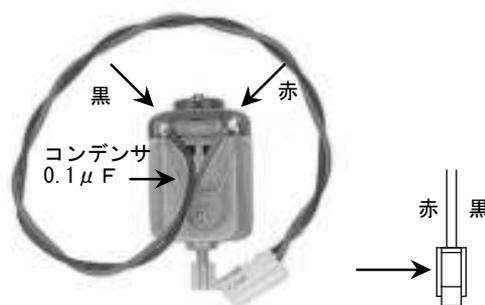
シャフトの丸いものは、1番モーター寄りの穴に使います。ここには軸受け用のハトメは使いません。このシャフトの中間の枠の両側に、クラウンギヤを差込みます。

次のギヤーは計4枚有ります。同じ物です。向きに注意して差し込みます。

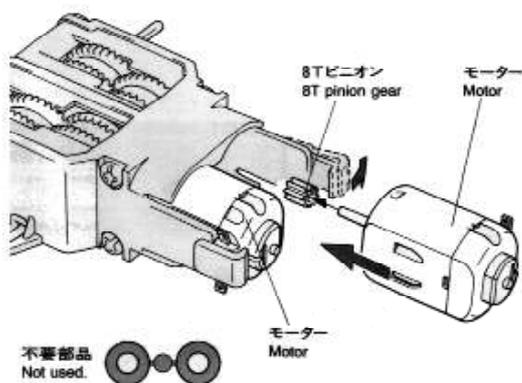
1番外側のギヤーが六角ボスと合います。
片側のみイモビスで固定しシャフトが左右に移動しないようにします。

同梱のグリスをさしながら組立、最後に外側から、片側3本計6本のタッピングビスで枠を止めます。強く締めすぎると枠が歪んでシャフトがうまく回らなくなりますので、締め過ぎない様にします。

モーターの軸にピニオンギヤーを
 圧入します。
 硬いところへ置き、軸を静かに押し
 込みます。



モーターに線材と雑音防止のセラミック
 コンデンサ、もしくは積層コンデンサを
 取付けます。コンデンサの足の長さは、
 少し長めに図の様にします。



モーターを出来あがったギヤー
 ボックスに差込みます。



出来あがったギヤー
 ボックスと、モーター
 完成です。